

平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年2月12日

上場会社名 中日本興業株式会社 上場取引所 名
 コード番号 9643 URL http://www.nnk-cinema.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 服部 徹
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 感動創造支援 (氏名) 三田 則男 (TEL) 052-551-0274
 本部部长
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の業績 (平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	2,334	—	134	—	139	—	84	—
26年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
27年3月期第3四半期	159.14		—					
26年3月期第3四半期	—		—					

(注) 当社は、平成26年9月1日付けで連結子会社である中日本商事株式会社を吸収合併したことにより連結子会社が存在しなくなったため、当第3四半期累計期間は四半期財務諸表を作成しております。また、前第3四半期累計期間については、四半期財務諸表を作成していないため、記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	5,192	3,684	71.0
26年3月期	4,864	3,663	75.3

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 3,684百万円 26年3月期 3,663百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	30.00	—	40.00	70.00
27年3月期	—	30.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

26年3月期の期末配当金には記念配当10円00銭を含んでおります。

3. 平成27年3月期の業績予想 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,200	—	130	—	133	—	82	—	153.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期3Q	540,000株	26年3月期	540,000株
27年3月期3Q	8,766株	26年3月期	1,201株
27年3月期3Q	532,762株	26年3月期3Q	538,844株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

当社は、第1四半期累計期間までは、連結業績等を開示しておりましたが、平成26年9月1日付けで連結子会社である中日本商事株式会社を吸収合併したことにより連結子会社が存在しなくなったため、第2四半期累計期間より四半期連結財務諸表を作成していません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
4. 参考情報	8
前第3四半期連結損益計算書	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国の経済は、政府による経済政策や日銀の金融政策の効果により、公共投資の増加、雇用・所得環境の改善など明るい兆しが見られるものの、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動や世界経済の下振れの影響等もあり、依然として先行きは不透明な状況で推移いたしました。

このような経営環境のもと当社グループにおきましては、サービスの一層の充実を推進し、ご満足いただける映画・商品のご提供をすることで、お客様の「感動の創造」に努めてまいりました。また、より一層の経営の効率化を図るため、9月1日付けで当社の連結子会社である中日本商事株式会社を吸収合併いたしました。なお、当該吸収合併に伴い中日本商事株式会社が営んでいたリラクゼーション事業及びアド事業の4月から8月までの業績については、当第3四半期累計期間には含まれておりません。

この結果、当第3四半期累計期間の売上高は23億34百万円、営業利益は1億34百万円、経常利益は1億39百万円、四半期純利益は84百万円となりました。

また、第2四半期累計期間から四半期財務諸表を作成しているため、事業の状況における前年同期間との比較に関する事項についての記載は行っておりません。

セグメントの業績は次のとおりであります。

【シネマ事業】

シネマ事業におきましては、邦画では「るろうに剣心 京都大火編／伝説の最期編」、アニメでは「アナと雪の女王」「映画 妖怪ウォッチ 誕生の秘密だニャン!」、洋画では「マレフィセント」等の話題作を上映いたしました。その結果、売上高は19億64百万円、セグメント利益は1億23百万円となりました。

【リラクゼーション事業】

リラクゼーション事業におきましては、近隣企業等への営業活動など販売促進の強化を図り、客数を伸ばす施策を積極的に実施してまいりました。しかし、客単価の減少に加え、光熱費の値上げ等が影響し、厳しい状況で推移いたしました。その結果、売上高は2億68百万円、セグメント損失は1百万円となりました。

【アド事業】

アド事業におきましては、サイン工事や映画関連の宣伝材料の受注力強化に努めました。その結果、売上高は1億1百万円、セグメント利益は12百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末の総資産は51億92百万円となり、前事業年度末に比べ3億27百万円の増加となりました。これは主に売掛金及び有価証券の増加によるものであります。

負債は15億7百万円となり、前事業年度末に比べ3億6百万円の増加となりました。これは主に買掛金及びリース債務の増加によるものであります。

純資産は36億84百万円となり、前事業年度末に比べ21百万円の増加となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の業績予想につきましては、平成26年11月12日公表時から変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

法人税等の納付税額の算定については、当会計年度の税金等調整前当期純損益に対する税効果会計適用後の実行税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しています。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	479,010	516,637
売掛金	74,113	138,896
有価証券	210,189	310,232
商品及び製品	4,221	10,897
前払費用	22,674	23,030
預け金	75,920	70,628
繰延税金資産	5,929	20,846
その他	1,223	167,488
貸倒引当金	△571	△1,033
流動資産合計	872,712	1,257,625
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,987,695	1,905,525
構築物（純額）	68,038	65,402
機械装置及び運搬具（純額）	171,274	178,255
工具、器具及び備品（純額）	47,180	67,264
土地	669,168	669,168
建設仮勘定	5,644	5,644
有形固定資産合計	2,949,001	2,891,261
無形固定資産		
電話加入権	861	1,147
ソフトウェア	31,588	103,163
無形固定資産合計	32,449	104,310
投資その他の資産		
投資有価証券	256,243	301,625
関係会社株式	45,000	-
関係会社長期貸付金	115,000	-
差入保証金	589,336	632,568
長期前払費用	6,203	4,938
貸倒引当金	△1,150	-
投資その他の資産合計	1,010,633	939,131
固定資産合計	3,992,085	3,934,704
資産合計	4,864,797	5,192,329

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	206,106	272,917
1年内返済予定の長期借入金	131,196	131,196
リース債務	29,362	55,406
未払金	3,322	22,580
未払法人税等	20,953	38,069
未払消費税等	14,907	-
未払費用	32,857	59,243
従業員預り金	2,047	3,556
役員賞与引当金	4,500	-
賞与引当金	7,823	6,843
その他	24,593	219,592
流動負債合計	477,670	809,405
固定負債		
長期借入金	219,092	120,695
リース債務	91,938	140,640
退職給付引当金	48,012	64,776
長期未払金	35,800	40,000
資産除去債務	49,885	53,440
受入保証金	236,460	219,966
繰延税金負債	42,410	58,420
固定負債合計	723,598	697,937
負債合計	1,201,269	1,507,343
純資産の部		
株主資本		
資本金	270,000	270,000
資本剰余金		
資本準備金	13	13
資本剰余金合計	13	13
利益剰余金		
利益準備金	67,500	67,500
その他利益剰余金		
配当準備積立金	415,337	377,847
別途積立金	2,380,000	2,380,000
繰越利益剰余金	432,130	516,912
利益剰余金合計	3,294,967	3,342,260
自己株式	△10,983	△66,069
株主資本合計	3,553,998	3,546,204
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	109,529	138,782
評価・換算差額等合計	109,529	138,782
純資産合計	3,663,528	3,684,986
負債純資産合計	4,864,797	5,192,329

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	2,334,226
売上原価	1,200,441
売上総利益	1,133,784
販売費及び一般管理費	
広告宣伝費	28,169
人件費	304,842
賞与引当金繰入額	6,843
退職給付費用	2,692
減価償却費	134,842
地代家賃	256,290
水道光熱費	83,326
修繕費	2,693
その他	179,669
販売費及び一般管理費合計	999,371
営業利益	134,413
営業外収益	
受取利息	1,181
受取配当金	4,442
貸倒引当金戻入額	874
その他	4,763
営業外収益合計	11,262
営業外費用	
支払利息	4,095
その他	2,489
営業外費用合計	6,585
経常利益	139,090
特別損失	
固定資産除却損	1,666
抱合せ株式消滅差損	3,455
特別損失合計	5,122
税引前四半期純利益	133,968
法人税等	49,186
四半期純利益	84,781

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 当第3四半期累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期損益 計算書計上額
	シネマ	リラクゼーシ ョン	アド	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,964,256	268,157	101,811	2,334,226	—	2,334,226
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,964,256	268,157	101,811	2,334,226	—	2,334,226
セグメント利益又は損失(△)	123,616	△1,485	12,281	134,413	—	134,413

(注) 1. 前第3四半期累計期間については、四半期財務諸表を作成していないため、記載しておりません。

2. 平成26年9月1日付けで当社の連結子会社である中日本商事株式会社を吸収合併したことに伴い、中日本商事が営んでいたリラクゼーション事業及びアド事業の4月から8月までの業績については、当第3四半期累計期間には含まれておりません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. 参考情報

前第3四半期連結損益計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
売上高	2,565,441
売上原価	1,225,867
売上総利益	1,339,573
販売費及び一般管理費	1,239,162
営業利益	100,411
営業外収益	17,732
営業外費用	7,996
経常利益	110,146
特別利益	43,518
特別損失	4,736
税金等調整前四半期純利益	148,928
法人税等	57,340
少数株主損益調整前四半期純利益	91,588
四半期純利益	91,588